

連携だより

令和元年

9 月号

令和元年9月1日発行

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
TEL 0823-22-3816
FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

E-mail 506-kure-renkei@mail.hosp.go.jp

理念

相手の心情に寄り添う愛のある医療を笑顔で実践します
*Practice medicine from the heart,
create smiles every day*

運営方針

LOVE and SMILES

9月の花 キンモクセイ



今月号のトピックス

■NHK総合9月10日(火)夜10時30分

『プロフェッショナル～仕事の流儀～』番組内の一部で

当センターの内視鏡治療が放送されます

消化器内科・内視鏡センター長 桑井 寿雄…………… 1

■第3回 地域医療連携の茶話会のご報告

地域医療連携室 折本 陽一…………… 2

■地域医療連携に感謝 地域医療連携室室長 紀川 収次…………… 3

■外科病棟紹介 看護師長 濱中 静香…………… 4

NHK総合9月10日(火)夜10時30分『プロフェッショナル～仕事の流儀～』番組内の一部で当センターの内視鏡治療が放送されます。

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター
消化器内科・内視鏡センター長 桑井 寿雄

さる5月13日から15日の3日間、NHK『プロフェッショナル～仕事の流儀～』の番組撮影を当センターで行い、その放送が9月10日(火)夜10時30分から決定しました。

『プロフェッショナル～仕事の流儀～』は、さまざまな分野の第一線で活躍している一流の「プロ」の仕事を徹底的に掘り下げるNHKの大人気ドキュメンタリー番組です。この9月10日に放送予定の回は、内視鏡治療で使用する小型ハサミ型ナイフを作った職人さんにスポットを当てた内容とな



ります。当センターはそのナイフを世界で一番多く使用し内視鏡治療を行っている施設として紹介されます。

当院のロケ内容は、連携施設からご紹介いただいた早期食道癌、早期大腸癌の患者さんに対する内視鏡治療中はもちろんのこと、術前術後の患者さんの模様も密着取材されました。我々の尺は短時間ではございますが、早期消化管癌でご紹介いただいている患者さんの当院での内視鏡治療の雰囲気を感じていただけたと思いますので、是非ともご覧ください。

このように、呉という一地方都市にしながら、全国放送、なかでも『プロフェッショナル～仕事の流儀～』という超人気番組にとりあげられたのも、連携施設の先生方からの多くの患者さんのご紹介の賜物と当センタースタッフ一同心より感謝申し上げます。今後もご紹介いただいた一例一例を大切に、全国レベルの医療を地域医療に密着して提供することをモットーに、呉医療圏の医療の向上に努めたいと考えております。引き続きよろしくお願い申し上げます。



第3回 地域医療連携の茶話会のご報告

地域医療連携室 折本 陽一

令和元年7月19日（金）『第3回 地域医療連携の茶話会』を開催致しました。居宅介護支援事業所を始めとする関係機関より45施設、82名のご参加をいただきました。お忙しい中、ご参加くださいました皆様方、ありがとうございました。（写真1）

この度は、「口腔ケアと摂食嚥下について」という演題のもと、院内講師2名による講演を行いました。

事前アンケートで、“在宅で出来る嚥下リハビリはないか”、“認知症やADLの低い患者さんへの食事介助への工夫”など、多くのご質問をいただいておりますので、その内容を盛り込む形で講演を行いました。



写真1

まず初めに、摂食嚥下障害看護認定看護師の富中より、「食事介助に関しての環境整備・方法など」と題し、講演を行いました。（写真2）食事の前に手洗いやおしぼりで手を清潔にし、食事を始めるといふ動機付けを行ったり、食事前の嚥下体操も効果的であること、食事に集中できるような環境整備、食具の適切な選択、姿勢も個人の状態に合わせて細かく調整をすることの重要性を再認識することがで

きました。

続いて、歯科衛生士の関徳より、「在宅・施設で出来る口腔ケア」についてお話をさせていただきました。口腔内には、歯面に付着している菌数が1000億個／g、唾液の菌数が数千万～10億個／gとのこと。これらは、歯周病や肺炎に関与するばかりではなく、動脈硬化などの血管系の病気、心臓の病気、糖尿病など全身の健康を害し、場合は生命を奪う疾患にも関与するとの話があり、口腔内を清潔に保ち、菌数を減らすことが、いかに重要かということがよくわかりました。（写真3）

事後アンケートでは、“すぐに実践できる内容だったので活用したい”、“普段聞くことのできない専門的な話が聞けて参考になる”など、嬉しいお声を頂戴することができました。

この度は、多くの地域関係者の方のご参加で大盛況に終えることができました。来年度も引き続き、関係機関の皆様方とこのような場を設け、連携を深めていければと思っていますので、今後ともお願い申し上げます。また、日々の連携の中でも、お困りのこと等がございましたら、ご遠慮なくご意見賜りますようお願い申し上げます。



写真 2



写真 3

地域医療連携に感謝（令和元年 8 月）

地域医療連携室室長 紀川 収次

地域の先生方におかれましては、日頃より当院の地域医療連携業務にご協力いただきありがとうございます。

当院では、平成27年度より当院の地域医療連携事業に協力いただいている病院・医院の皆様へ感謝状と共に記念品を贈呈しています。

今年度は、当院との連携医療機関の中で、紹介、逆紹介ともに多く、急性期治療を終えた当センター患者さんが在宅に戻られる際の在宅支援連携病院としてもご尽力いただいている佐々木内科・呼吸器科クリニックを訪問して、感謝状と記念品を贈呈いたしました。（8月23日、写真1）

当センター下瀬院長と地域医療連携室から中野副院長、森下看護師長及び私の4名が訪問し、佐々木内科・呼吸器科クリニック院長、副院長並びに病院職員の皆さんへ日頃の感謝の気持ちを伝えることができました。（写真2）

今後も引き続き多くの病院・



写真 1 佐々木内科・呼吸器科クリニック スタッフの皆様

医院の皆様と交流を持ち、感謝の気持ちを伝えたいと考えています。より良い地域医療連携を目指して地域医療連携室スタッフ一同は努力してまいります。今後ともよろしくお願い致します。



写真2 下瀬院長と佐々木英夫院長先生

外科病棟紹介



6 A病棟看護師長
濱中 静香

☆病棟の概要について

6 A病棟は、消化器外科病棟で病床数は55床です。手術療法・術前後の補助化学療法・放射線療法、術後再発患者の化学療法、終末期まで対応しています。病棟では毎日、看護師による術前カンファレンスを行い、患者さんに安心して手術が受けられるよう看護しています。術後のリハビリも作業療法士と協同しながら早期離床を促し、術後合併症予防に努めています。手術から終末期までの患者さんの看護を行うために、最新の知識を習得するためにも病棟勉強会や院内外研修も積極的に参加してします。毎週金曜日には、医師・看護師・理学療法士・言語療法士・薬剤師による合同カンファレンスも行っています。様々な職種の意見を基に、患者さんにとって最良の治療や看護が安全に受けられるようにチーム一丸となって頑張っています。



6 A病棟スタッフ一同

☆自慢したいこと

6 A病棟では「患者さんをねたきりにさせない！」をモットーに、手術侵襲の大きなOP後も早期離床を行い、術前・術後の看護を通して患者さんのADLを維持・向上させ、患者さんが住み慣れた地域に戻れるよう限られた入院期間の中で多職種でチーム医療に取り組んでいます。呉市の人口分布からの今後高齢者が増えていく中でも安心して手術が受けられるよう全力でサポートします。

☆看護師長として大切にしていること

「専門性をいかしたやさしさのある看護」の理念のもとスタッフ育成に日々頑張っています。さまざまな場面で人工知能やロボットが活躍している時代ではありますが、看護は人間にしかできないと自負しています。患者さんに提供する看護の知識や技術の習得のみならず私たちでしかできない、温かい手で触れ、目配り気配りをしながら患者さんの安全守り、やさしい声で患者さんに語りかけることができる看護師の育成を頑張っていきたいと思います。

消化器合同オープンカンファレンス

日 時 令和元年 **9月4日（水）** 19：00～

場 所 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター1・2

演 題 **肝・胆・膵及び上部下部消化管を対象疾患とし、
画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討。**

症例1：「膵体尾部に充実成分と嚢胞成分が混在した
巨大な腫瘍を指摘された1例」

症例2：「健診にて発見された直腸隆起性病変に対し、
ESDを施行後に追加切除となった1例」

定期講演会のご案内

日 時 令和元年 **9月18日（水）** 19：00～20：00

場 所 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター1・2

演 題 **「当センターにおける病理診断科の業務」**

演者：病理診断科科长 倉岡 和矢

内科オープンカンファレンス

日 時 令和元年 **9月26日（木）** 19：00～

場 所 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター1・2

医長講義 鳥居 剛

症例1：脳神経内科医師 松山 稜太郎

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平 日 昼 間 8：30～17：15 0823-22-3111

土・日および夜間 17：15～8：30 0823-23-1020

がんサロンのご案内

日 時：9月13日（金） 場 所：外来棟4階 第3研修室
14：00～15：00 内 容：「がん治療と口腔ケア」

オストメイトサロンのご案内

日 時：9月26日（木） 場 所：外来棟4階 第3研修室
14：00～15：00 内 容：「オストメイトの
日常生活全般について」



TCSA勉強会

TCSA= Total Care Support Association

TCSAとは、感染コントロールチーム (ICT)、栄養サポートチーム (NST)、褥瘡防止チーム (PMT)、クリニカルパスチーム (CPT)のコラボレーションで、チーム医療の進化形です。

令和元年度 第5回

日時：9月9日(月)18時～19時半

場所：4階地域研修センター1・2

進行：TCSA委員長 山下 芳典

1.「重症患者における急性期栄養管理」

ー血糖コントロールと蛋白質投与量を意識するー

講師：救命救急センター一部長 岩崎 泰昌

2.「胃瘻造設の手技と管理」

講師：消化器内科医師

峠 香苗

皆さん、気軽にご参加下さい。
一緒に勉強しましょう!!



TCSA強会は、NST専門療法士試験の受験資格に必要な単位に積算されます。

問い合わせ先：呉医療センター・中国がんセンター

TCSA委員会 栄養管理室 平松 佑美 (PHS:7923)

9月の時間外 研修会／勉強会



【連絡先】
独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係（教務企画課）
広島県呉市青山町3番1号／TEL:0825-22-3111／FAX:0825-22-3112／http://www.kur-e-hs.go.jp/



研修会名	日 時		場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
	9月5日	(木)					
医療機器安全使用に関する研修会 「在宅呼吸器－Air Curve－」	9月5日	(木)	11階カンファレンスルーム	フクダライフテック中国 辰巳 敬太	ME管理室	院内向け	全職種
コメディカルのお薬勉強会 「脳梗塞について」	9月9日	(月)	11階カンファレンスルーム	呉医療センター・中国がんセンター 薬剤部薬剤師 喜多 知美	薬剤部	院内向け	看護師 助産師 コメディカル
第5回 TCSA勉強会 「重症患者における急性期栄養管理」 「胃瘻造設の手法と管理」	9月9日	(月)	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 救命救急センター部長 岩崎 泰昌 消化器内科医師 峠 香苗	栄養管理室	○	全職種
院内内視鏡セミナー 「内視鏡の看護・介助」	9月13日	(金)	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 内視鏡センター 看護師 松井 宮美	消化器内科	院内向け	初期研修医 看護師 コメディカル
地域医療研修センター定期講演会 「当センターにおける病理診断科の業務」	9月18日	(水)	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 病理診断科科长 倉岡 和矢	地域連携室・管理課	○	全職種
医療機器安全使用に関する研修会 「保育器－Caleo－」	9月19日	(木)	11階カンファレンスルーム	ドレーゲル 有本 悟	ME管理室	院内向け	全職種
内科オープンカンファレンス	9月26日	(木)	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 医長講義 脳神経内科科長 鳥居 剛 症例1. 脳神経内科医師 松山 稜太郎	内科	○	医師（初期研修医含む）
BLS（一次心肺蘇生法） 「CPR（心肺蘇生）」 「AED（自動体外式除細動機）」	9月30日	(月)	呉医療技術研修センター	呉医療センター 蘇生教育チーム	呉医療センター 蘇生教育チーム	院内向け	全職種 ※研修申請3日前までに 研修先：技術研修センター 高浜
メンタルヘルス研修	9月30日	(月)	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 精神科科長 町野 彰彦	管理課	院内向け	全職種



自己研鑽で専門性を高めましょう!!

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター

地域医療連携室

中野 喜久雄

森下 早苗

川島 美由紀

TEL: (0823) 22-3816

清水 洋祐

折本 陽一